

2018年度(2019年3月期) 第3四半期決算説明会



2019年1月30日

大正製薬ホールディングス株式会社

取締役 上原 健



2018年度第3四半期決算：概要

(億円)

	2017年度 3Q累計	2018年度 3Q累計	前年同期比 増減	
売上高	2,158	1,999	-159	-7.4%
セルフメディケーション	1,409	1,378	-30	-2.2%
医薬	749	621	-129	-17.2%
営業利益	286	281	-4	-1.5%
経常利益	334	362	+28	+8.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	265	514	+249	+94.2%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2018年度第3四半期の概況：SM事業

(億円)

	2018年度 3Q累計	前年同期比 増減		備考
SM事業全体	1,378	-30	-2.2%	
SM国内	1,121	-31	-2.7%	
リポビタンシリーズ	418	-23	-5.2%	販促政策の継続的な見直し
パブロンシリーズ	208	-1	-0.6%	
リアップシリーズ	118	-5	-4.2%	競合製品の発売
その他	378	-2	-0.5%	
SM海外	233	-2	-0.8%	

注：金額は億円未満四捨五入
増減は百万円単位で計算

<ご参考：市場の状況>

国内OTC医薬品市場：前年同期比(4~12月)+1.0%
(インテージSDI・SRIデータをもとに当社推計、金額ベース)



2018年度第3四半期 SM海外:売上高

(億円)

	2018年度 3Q累計	前年同期比 増減	
SM海外	233	-2	-0.8%
ドリンク剤	87	+2	+2.7%
OTC医薬品	134	-4	-3.0%
アジア	121	-1	-1.0%
その他	13	-3	-18.2%

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

2018年度第3四半期の概況：医薬事業



(億円)

	2018年度 3Q累計	前年同期比 増減		備考
医薬事業	621	-129	-17.2%	
エディロール	198	+6	+3.1%	
ゾシン	48	-31	-39.0%	薬価改定、後発品の影響により減少
ボンビバ	48	-2	-3.2%	
ルセフィ	40	+4	+10.8%	SGLT2阻害剤市場の拡大
ロコア	26	+2	+7.9%	

注：金額は億円未満四捨五入
増減は百万円単位で計算

＜ご参考：市場の状況（前年同期比）＞

医療用医薬品市場	-2.2%
・SGLT2阻害剤市場	+26.5%
・抗菌薬市場	-15.0%
・骨粗鬆症及関連疾患用 ビスホスホネート市場	-10.4%
・ビタミンD3市場	+2.9%



2018年度第3四半期：売上高・利益増減要因

(前期比増減額)

売上高 (-159億円)	セルフメディケーション事業 (-30億円)	医薬事業 (-129億円)
営業利益 (-4億円)	売上総利益* -99億円 (売上総利益率* 前期65.2% → 当期65.4%)	
	販管費 -94億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	-14億円
	・広告宣伝費	-32億円
	・販売促進費	-19億円
	・人件費	-14億円
・その他	-15億円	
営業外損益：持分法投資利益 15億円 (前期比+26億円)		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2018年度：通期業績予想

・通期業績予想の修正：有

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
売上高	2,615	-186	-6.6%	2,690	-75
セルフメディケーション	1,802	-38	-2.1%	1,865	-63
医薬	813	-148	-15.4%	825	-12
営業利益	330	-40	-10.8%	330	-
経常利益	425	+4	+0.9%	395	+30
親会社株主に帰属する 当期純利益	525	+208	+65.7%	555	-30
1株当たり当期純利益(円)	657.75	-	-	694.62	-

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2018年10月29日時点の予想との比較



2018年度：業績予想の修正要因

売上高

		修正額	備考
セルフメディケーション	国内	-42億円	販促政策の見直し
	海外	-16億円	為替影響および 流通在庫の調整
医薬		-12億円	注力製品の計画未達

費用

	修正額	主な内訳
販管費	-61億円	広告宣伝費 -13億円 販売促進費 -22億円



2018年度予想: SM事業

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
SM事業全体	1,802	-38	-2.1%	1,865	-63
SM国内	1,468	-34	-2.3%	1,510	-42
リポビタンシリーズ	520	-28	-5.1%	543	-24
パブロンシリーズ	293	+4	+1.3%	286	+7
リアップシリーズ	155	-11	-6.5%	160	-5
SM海外	309	-0	-0.1%	325	-16

注: 金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2018年10月29日時点の予想との比較



2018年度予想 SM海外:売上高

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
SM海外	309	-0	-0.1%	325	-16
ドリンク剤	115	+7	+6.0%	116	-1
OTC医薬品	180	-6	-3.2%	195	-15
アジア	163	-3	-1.7%	174	-12
その他	17	-3	-15.4%	21	-4

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2018年10月29日時点の予想との比較



2018年度予想：医薬事業

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
医薬事業	813	-148	-15.4%	825	-12
エディロール	258	+4	+1.6%	260	-2
ゾシン	66	-32	-32.5%	48	+18
ボンビバ	62	-3	-4.6%	73	-11
ルセフィ	55	+5	+10.7%	65	-10
ロコア	34	+3	+11.4%	45	-11

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2018年10月29日時点の予想との比較



2018年度予想：売上高・利益の増減要因

(前期比増減額)

売上高 (-186億円)	セルフメディケーション事業 (-38億円)	医薬事業 (-148億円)
営業利益 (-40億円)	売上総利益* -127億円 (売上総利益率* 前期65.3% → 当期65.1%)	
	販管費 -87億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	-6億円
	・広告宣伝費	-30億円
	・販売促進費	-19億円
	・人件費	-22億円
・その他	-10億円	
営業外損益：持分法投資利益 16億円 (前期比+32億円)		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

大正製薬開発品：申請中

(2019年1月30日現在)

	<u>特長他</u> 予定適応症	開発形態	国内／海外
申請中			
タウリン散98% 「大正」	MELAS*における脳卒中様発作の再発抑制 ※適応追加	自社	国内

* Mitochondrial myopathy, Encephalopathy, Lactic Acidosis and Stroke-like episodes
(ミトコンドリア脳筋症・乳酸アシドーシス・脳卒中様発作症候群)



医療用医薬品：新薬パイプライン(2)

大正製薬開発品：フェーズ2以降

(2019年1月30日現在)

	特長他 予定適応症	開発形態	国内／海外
フェーズ3			
TS-152 (注射)	抗TNF α 抗体 関節リウマチ	自社	国内
フェーズ2			
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	国内
TS-141 (経口)	小児 注意欠如・多動性障害(AD/HD)	自社	国内
TS-133 (外用)	脱毛症	自社	国内
TS-142 (経口)	不眠症	自社	国内
TS-121 (経口)	うつ病	自社	海外



医療用医薬品：新薬パイプライン(3)

大正製薬開発品：フェーズ1

(2019年1月30日現在)

	対象疾患	自社／導入	国内／海外
フェーズ1			
TS-071 (経口)	2型糖尿病	自社	海外
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	海外
TS-134 (経口)	統合失調症	自社	海外